



ノーマル、SPORTS、COMFORT
3タイプを乗り比べ

今回はAREA86店でもある「トヨカカラーラ名古屋 里 道山の山」の協力にて、3台の試乗車を用意。ノーマル、SPORTS、COMFORTそれぞれを乗り比べた。さらに「86を撮ラブプロ」の目線で、マスター・スタッフにも試乗フリーリングをエッカッケてもらった。試乗車はサバンエンション以外はノーマルのまま、SPORTSを装着したG (MT)とCOMFORT装着のGT (AT)は純正17インチタイヤ(ミシュラン・プライマシーHP、215/45R17)、ノーマルのGT (AT)は純正16インチタイヤ(アドバン、205/55R16)を装着。



▲AREAABC店では、取り扱いバーツの装着はもちろん、セッティング変更なども行っている。サスペンションバーの取り付けはもとより物だ。

SPOTSは運転の楽しさを再認識させてくれ**COMFORT**はストレスのない快適な走りを実現



COMFORT

SPORTS

まさに「これがノーマルでもいいのでは?」と思わせる快適な乗り心地の良さを見せるCOMFORT。ダンパーの動き出しがとてもスムーズで突き上げ感もほとんど感じられなかった。街乗りオ

ABEA86日進竹の山店 マスタースタッフも乗り比べ



SPORTSに登った

マスター・スタッフ 伊倉正彦氏
「SPOTSは17インチタイヤのしっかり感を兼めてくれる感じですね。ノーマルより重くなく、しっかりとロールしないというか、ゆっくりロールする感じで、直に上げないです。タイコグリの崩れ合わせでは、さりにソフトな印象になります。速度が高が下がって、それでいてスポーティで乗り心地も良く、車の良さを存分に引き出せる車といえます」



COMFORTに着た

COMFORT 舒適
ELEGANCE 雅緻

「COMFORTはシートに書いてあります。それにギャップへの乗車上昇時の寝まいがらですね。車線変更をしたときに前のタイヤの動きにタイムラグがない感じですね。これらなら舒やかにいってしょうね。曲手楽人のみたいにサスペンションと見えるかかもしれません。ハンドリングがリアニアを感じ、クルマが大きくなるかのように思えます。

乗り比べてみれば、COMFORTよりも減震力が、それも乗り心地の悪さではなく「スポーツモード」現するための設定といえる。ロール量は少ない

ショーワードチャーニングのサスペンション
は「ボルティメ」、というのがウリのバッテリー。
普通はこの二つを両立させるのは難しい
が、シヨーワ独自の技術によりそれを実現
している。しかもSPORTS LINEと
OMFORTに二タイプを設定しているのもポイントだ。
実際に乗り比べると、「どちらもノーマル
より乗り心地がいい。SPORTS LINEに比べると、確かに若干の
硬さを感じるが、それは「しっかり感」
という肯定的な捉え方ができる種類の感覚
といふべきだ。ノーマル特有のタフた
突き上げ感が弱されているため、タイヤ
の接地感が高まっている。
「ノーマルから切り替える」とい
ふれば、「ドギマティック」だからサーキットで
走行などにも適した設定となる。
対するSPORTS LINEの方は、街乗り最優先であれば、「これがいい」というう

能を発揮しててくれた。SPORTS-TVで見て、それが「トライアングル」はCOMETで見て、COMETでは競馬やかなフィーリングで抑えられているが、商業的にはこちらの方がマッチするだろう。車両がノーマルでそれなりにオールドも運転が可能だとしても乗りやすさが安定しているのでとても乗りやすい。

というわけで、2タイプのサスペンションのうち、「どちらを選ぶかは難しくしてしまったが、エリーゼ86のマスタークラブ」ととも話す。自分にとってのベストを選んでほしい。

トヨタカローラ名古屋 AREA86 目進竹の山



4 GAZOO Racing
86 GT2レースに参
加する86を展示す
セッケンは「758(7
ごや)」。その通
じにも注目したい

AREA6は営業店の中でも根柢が大きいといから、遠方からの客も多いというトヨタクローラー名古屋・AREA6は日進市の山1-1号地にて、独立した施設内に展示場を構えているところもあって、入りやすいのが特徴だ。また、湘南シートードでのイベントや、セントラル駐車場でのジムカーナなど、積極的にイベントを開催している。プロトタイプによる車両試乗を実現してもらうために、開拓してもらっている。ショーティングのアドバイスを受けたりすることができるイベントが好評で、次回の開催も計画しているそうだ。2013年8月17日には、施設内の隣接地にパーキング